

2022年度第4回川崎市PPPプラットフォーム意見交換会結果概要

調整池の有効活用を行うため、どのような取組ができるかについて意見交換を実施しましたので、その結果を公表いたします。

1 実施日時

令和5年2月13日（月）、16日（木）

2 結果概要

（1）事業者数 5社

（2）意見交換会での主な意見

	公募条件及び対象地に関することについて
主な意見	・降雨後、調整池内に土が溜まってしまうと復旧作業に費用や時間がかかってしまい、施設利用に影響がでる恐れがある。 ・構造物を設置するなどの初期投資費用が多い場合は、実証実験の期間は費用の改修を含めて5年～20年程度と長い期間が必要となる。 ・土地使用料や費用の一部を調整池の維持管理費用に充てることは可能だが、初期投資費用や運営費も不明なため、費用負担の割合は協議が必要である。 ・現在の社会状況から、有効活用については、地域貢献や脱炭素に関する取組などを組み合わせるプラスワンの要素が必要である。

その他主な意見

- ・対象地すべてではなく、貸付けに有効な面積部分だけを貸出す手法も考えられる。
- ・工事が必要となる場合、工事期間中は調整池の機能が減少するので、工事等が必要な場合は乾期に工事をした方がよい。
- ・構造物等を設置すると調整池の貯水能力に影響がでることから、調整池の深度を深くすることも可能とする公募条件にしたかどうか。

※上記内容については、参加者の了承を得られたもののみ公表しています。

3 今後の対応

今回の意見交換会でいただいた御意見を基に、有効活用策の検討、公募条件等の整理と募集要項の作成を行ってまいります。

問い合わせ先

建設緑政局道路河川整備部河川課 大塚・畑

電話044-200-3561